

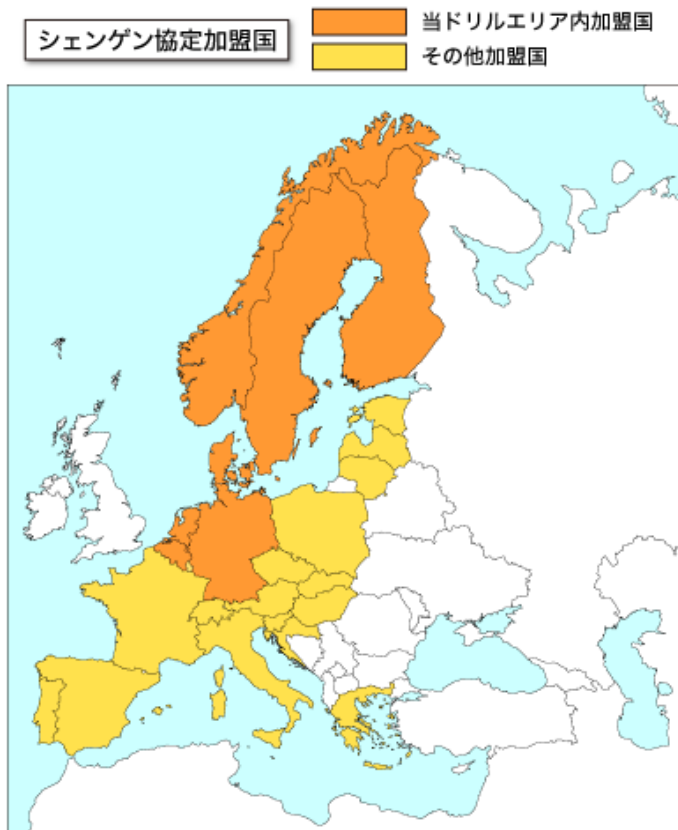
ヨーロッパ I の基礎知識

Q : EU 加盟国の多くはシェンゲン協定に加盟しており、協定加盟国間の移動が自由に可能である。  
(正誤)

●正解 : 正

●解説

- ・ シェンゲン協定は簡単に言うと加盟各国間の国境での出入国審査を無くし、人と物の移動を自由にして加盟国全体（シェンゲン圏）をひとつの国のように運用する協定で、大陸ヨーロッパのほとんどすべての国が加盟しています。したがって日本から大陸ヨーロッパの諸国へ旅行する場合、最初の国で入国審査を受ければその後の各国への移動は原則として出入国審査なしで自由にできます。
- ・ EU 加盟国の多くはシェンゲン協定加盟国ですが、EU 加盟国であってもシェンゲン協定に加盟していない国、逆に EU 非加盟であってもシェンゲン協定に加盟している国があります。
- ・ 2024 年 4 月現在、世界のほとんどの国は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入国制限を撤廃しています。ただし今後新たな病原体がパンデミックを引き起こす危険性は引き続き存在していますので注意しましょう。
- ・ 以下の図は 2024 年 4 月現在のシェンゲン協定加盟国です。



Q：以下の旅程で旅行する場合、入国審査はフランクフルトで、出国審査はロンドンで各1回行なわれる（移動はすべて航空直行便を利用）。（正誤）

〔旅程〕東京→フランクフルト（滞在）→アムステルダム（滞在）→ロンドン（滞在）→東京

●正解：誤

●解説

- ・ 英国はシェンゲン協定に加盟していません。したがって出入国審査は以下のようになります。  
フランクフルト到着時：シェンゲン圏への入国審査  
アムステルダム出発時：シェンゲン圏からの出国審査  
ロンドン到着時：英国への入国審査  
ロンドン出発時：英国からの出国審査

Q：旅行中に使用し日本へ持ち帰るのであれば、パソコンやカメラの持ち込みを税関で申告する必要はない。（正誤）

●正解：誤

●解説

- ・ 2024年4月現在、総額で430ユーロ以上の物品をシェンゲン圏内に持ちこむ場合は規則で税関申告が必要となります。規則に厳格な国柄からか、時々ドイツの空港での持ち込みトラブルがあり、在ドイツの日本大使館から注意喚起がなされています。乗り継ぎの場合でも税関の申告は最初のシェンゲン圏の国で行いますので特にドイツの空港で乗り継いで他の国に向かう場合は注意して下さい。
- ・ 特にiPhone、パソコン、タブレット、一眼レフカメラや交換レンズを持ちこむ場合は注意が必要です。税関では必ず赤のゲートに行き申告が必要かどうか係員に確認して下さい。事前に物品とユーロ換算の金額を記入した英文のリストを用意しておくとう便利です。
- ・ 緑のゲートで係員に呼びとめられてこれらの物品が発見されると不正持ち込みと判断され、没収のうえ多額の罰金が科されます。

## オランダ

Q：オランダの首都はアムステルダムだが、政府や国会などの諸機関はハーグ（デン・ハーグ）にある。（正誤）

●正解：正

●解説

- ・ 憲法により首都はアムステルダムに定められていますが、政府や国会などの諸機関はハーグにあり、各国の大使館もハーグにあります。
- ・ 首都のアムステルダムは国土の中央西寄りに位置しています。

Q：アムステルダム国立美術館はオランダを代表する美術館で、（ ）の「夜警」はここに展示されている。

- a. ブリュージュ
- b. フェルメール
- c. レンブラント

●正解：c

●解説

- ・ 2013年に改修を終えたアムステルダム国立美術館は市街南西部のミュージアム広場に面して建つ美しい建物で、チケット売場と入り口は地下1階にあります。
- ・ アムステルダム国立美術館はレンブラント「夜警」、自画像、フェルメール「牛乳を注ぐ女」、「小路」などの珠玉の名作を保有しています。これら17世紀オランダ絵画黄金期の名作は2F中央の「名誉の間」にまとめて展示されていますが、時々他の美術館に貸し出しされていることがあります。

- ・ 「夜警」は2019年夏から公開修復作業中で、絵は修復作業のための巨大なガラス張りのブースの中に収められています。修復過程は国立美術館のサイトで見ることができます。
- ・ スキポール空港ロビーにアムステルダム国立美術館の分室があり、所蔵絵画の一部を展示しています。

●サイト

アムステルダム国立美術館公式サイト（英語） <https://www.rijksmuseum.nl/en>

英国

Q：英国は2020年1月31日にEUを離脱した。（正誤）

●正解：正

●解説

- ・ 英国は1973年にEUの前身であるEEC（欧州経済共同体）に加盟し、EUにも引き続き加盟していましたが2017年から3年にわたる離脱交渉を経て2020年1月31日にEUを離脱しました。
- ・ 離脱交渉で最も困難な問題になったのが従来自由な往来が認められてきたアイルランド共和国と英国領北アイルランドの間での国境の取り扱いでした。合意された離脱協定では北アイルランドを実質的にEUの規制下に残すことでアイルランド共和国と英国領北アイルランドの間の厳格な国境管理を回避することになっています。
- ・ EU離脱問題がようやく決着したとはいえ、この問題は英国内に深い亀裂をもたらしました
- ・ なお、英国のEU離脱は日本人の観光旅行にはほとんど影響しません。

Q：英国に短期間の観光目的で入国する場合、パスポートの残存有効期間は（ ）が必要である。

- 帰国時までの有効期間
- 3ヶ月以上の有効期間
- 6ヶ月以上の有効期間

●正解：a

●解説

- ・ 出国時まで有効であれば入国できますが、6ヶ月以上あるほうが望ましいとされています。また出国用の航空券（eチケット控え）は必須です。

Q：ロンドンとパリ、ブリュッセル、ロッテルダムおよびアムステルダムを結ぶ国際特急列車ユーロスターはロンドンのビクトリア駅を発着している。

●正解：誤

●解説

- ・ 正しくはセント・パンクラス駅発着です。パリ北駅まで最速2時間15分で結んでいます。
- ・ セント・パンクラス駅ではチェックインの後、英国の出国審査とフランス、ベルギー、オランダへの入国審査が行われます。チェックインは出発30分前に締切となりますので時間に余裕をもって駅に着くようにしましょう。

Q：トラファルガー広場の北西にあるピカデリー・サーカスの中央には（ ）がある。

- エロスの噴水
- 円形花壇
- トリトンの噴水

●正解：a

●解説

- ・ 広場の中央には、エロス（キューピッド）の像が立っているためエロスの噴水と呼ばれる噴水があります。噴水の正式名称はシャフツベリー記念噴水といいます。

- ・ サーカス (Circus) とは円形の広場を意味します。トラファルガー広場のような方形の広場はスクエア (Square) と呼ばれます。
- ・ ピカデリー・サーカスの周辺は劇場や商店が多く立ち並ぶロンドン有数の繁華街となっています。

Q : ロンドン郊外の ( ) では映画ハリー・ポッター・シリーズの多くが撮影されたセットをツアー形式で見学できる。

- a. リーブスデン・スタジオ
- b. ホグワーツ・スタジオ
- c. パインウッド・スタジオ

●正解 : a.

●解説

- ・ ツアーの名称は「ワーナーブラザーズ・スタジオ・ツアー メイキング・オブ・ハリー・ポッター」といい、広大なリーブスデン・スタジオの中に作られたホグワーツ魔法魔術学校大広間などのセット見学や特殊メイクの体験などが組まれたツアーです。
- ・ ツアーは完全予約制で、事前に下記サイトで予約する必要があります。
- ・ スタジオはロンドンの北西約 30km にあり、ユーストン駅から列車で約 20 分の Watford Junction 駅下車、専用シャトルバスで 15 分です。

●サイト

ワーナーブラザーズ・スタジオ・ツアー・ロンドン (英語)

<https://www.wbstudiotour.co.uk>